
データヘルス計画（第2期）
令和2年度 評価分析報告書

令和4年3月

御 所 市

1. 医療と生活習慣病

1) 医療費三要素の状況

(1) 1人当たり医療費の状況

1人当たり医療費は、令和元年度にやや増加し、令和2年度は減少している。どの年度も奈良県、国を超えているが、同規模より低くなっている。

(単位：円)

	御所市	奈良県	同規模	国
平成30年度	28,201	26,274	29,238	25,319
令和元年度	28,896	27,185	30,201	26,100
令和2年度	27,286	26,661	29,958	25,629

※1人当たり医療費=各年度(総点数×10÷年度累計被保険者数)

資料：KDBシステム 各年度累計
(健診・医療・介護データからみる
地域の健康課題)

(2) 医療受診の状況

医療受診率は、令和元年度にやや増加し、令和2年度が減少している。どの年度も奈良県とほぼ同じで、国を超えているが、同規模より低くなっている。

(単位：千人率)

	御所市	奈良県	同規模	国
平成30年度	723.2	725.8	740.3	700.0
令和元年度	733.3	730.1	743.7	701.0
令和2年度	689.5	682.3	705.9	653.2

資料：KDBシステム 各年度累計
(健診・医療・介護データからみる
地域の健康課題)

(3) 1件当たり医療費の状況

1件当たり医療費の状況は、平成30年度から増加している。奈良県、国と比較して高く、同規模より低くなっている。

(単位：円)

	御所市	奈良県	同規模	国
平成30年度	39,080	36,320	39,630	36,330
令和元年度	39,490	37,340	40,750	37,410
令和2年度	39,580	39,070	42,430	39,230

資料：KDBシステム 各年度累計
(医療費分析の経年比較)

2) 外来と入院の医療レセプト件数と医療費

(1) 外来レセプト件数

平成28年度から令和2年度までの上位4疾病は同じ疾病が並び、令和2年度は前年度と比較して4疾病の受診率がやや増加している。その他の疾病は、令和元年度、2年度とも同じ疾病が入り、受診率に大きな差はない。レセプト件数は、令和2年度が前年度と比較して「糖尿病」「骨粗しょう症」を除く疾病で減少している。

(単位：件)

令和2年度			令和元年度			平成28年度		
外来レセプト総件数 A	54,099		外来レセプト総件数 A	58,958		外来レセプト総件数 A	67,379	
疾病名	レセプト件数 B	割合 B/A	疾病名	レセプト件数 B	割合 B/A	疾病名	レセプト件数 B	割合 B/A
高血圧症	6,803	12.6%	高血圧症	7,242	12.3%	高血圧症	9,000	13.4%
脂質異常症	4,876	9.0%	脂質異常症	5,155	8.7%	脂質異常症	5,774	8.6%
糖尿病	4,503	8.3%	糖尿病	4,364	7.4%	糖尿病	5,221	7.7%
関節疾患	2,693	5.0%	関節疾患	2,730	4.6%	関節疾患	3,144	4.7%
緑内障	1,157	2.1%	緑内障	1,261	2.1%	うつ病	1,468	2.2%
うつ病	1,089	2.0%	うつ病	1,188	2.0%	不整脈	923	1.4%
骨粗しょう症	883	1.6%	不整脈	883	1.5%	統合失調症	858	1.3%
逆流性食道炎	802	1.5%	気管支喘息	850	1.4%	胃潰瘍	755	1.1%
不整脈	774	1.4%	骨粗しょう症	822	1.4%	骨粗しょう症	731	1.1%
気管支喘息	738	1.4%	逆流性食道炎	816	1.4%	狭心症	539	0.8%

資料：KDBシステム 各年度累計 CSV データ
(疾病別医療費分析 (細小(82)分類))

(2) 入院レセプト件数

平成28年度から令和2年度までの上位3疾病は同じ疾病が並び、令和2年度は前年度と比較して3疾病の受診率が増加している。令和2年度のその他の疾病は、前年度と比較して「脳梗塞」以外の受診率が増加し、新たに「不整脈」「糖尿病」が入っている。レセプト件数は、令和2年度が前年度と比較して「うつ病」「脳梗塞」を除く疾病で増加している。

(単位：件)

令和2年度			令和元年度			平成28年度		
入院レセプト総件数 A	1,662		入院レセプト総件数 A	1,872		入院レセプト総件数 A	1,916	
疾病名	レセプト件数 B	割合 B/A	疾病名	レセプト件数 B	割合 B/A	疾病名	レセプト件数 B	割合 B/A
統合失調症	235	14.1%	統合失調症	217	11.6%	統合失調症	267	13.9%
骨折	66	4.0%	うつ病	63	3.4%	うつ病	74	3.9%
うつ病	61	3.7%	骨折	61	3.3%	骨折	65	3.4%
関節疾患	55	3.3%	関節疾患	39	2.1%	脳梗塞	53	2.8%
肺がん	40	2.4%	脳梗塞	35	1.9%	関節疾患	51	2.7%
慢性腎臓病(透析あり)	40	2.4%	肺がん	35	1.9%	狭心症	38	2.0%
白内障	30	1.8%	慢性腎臓病(透析あり)	30	1.6%	糖尿病	29	1.5%
不整脈	25	1.5%	白内障	28	1.5%	慢性腎不全(透析あり)	29	1.5%
糖尿病	23	1.4%	大腸がん	27	1.4%	肺がん	28	1.5%
脳梗塞	22	1.3%	大腸ポリープ	26	1.4%	大腸がん	28	1.5%

資料：KDBシステム 各年度累計 CSV データ
(疾病別医療費分析 (細小(82)分類))

(3) 外来医療費

平成28年度から令和2年度までの上位5疾病は同じ疾病が入っており、「糖尿病」「高血圧症」の順で並んでいる。また、令和2年度は前年度と比較して上位4疾病の割合は増加、その他は減少か横ばいとなり、新たに「胃がん」が入っている。医療費は、「糖尿病」以外の疾病で減少している。

(単位：円)

令和2年度			令和元年度			平成28年度		
外来総医療費 A	1,206,242,180		外来総医療費 A	1,326,987,470		外来総医療費 A	1,529,219,970	
疾病名	医療費 B	割合 B/A	疾病名	医療費 B	割合 B/A	疾病名	医療費 B	割合 B/A
糖尿病	126,632,370	10.5%	糖尿病	119,025,640	9.0%	糖尿病	150,977,990	9.9%
高血圧症	80,040,960	6.6%	高血圧症	84,121,240	6.3%	高血圧症	122,525,600	8.0%
脂質異常症	63,836,800	5.3%	慢性腎不全(透析あり)	72,415,670	5.5%	慢性腎不全(透析あり)	81,761,630	5.3%
関節疾患	63,512,210	5.3%	脂質異常症	69,569,070	5.2%	脂質異常症	79,416,130	5.2%
慢性腎臓病(透析あり)	56,636,420	4.7%	関節疾患	65,686,400	5.0%	関節疾患	71,032,030	4.6%
大腸がん	28,431,800	2.4%	乳がん	35,558,620	2.7%	大腸がん	29,886,020	2.0%
乳がん	28,145,600	2.3%	大腸がん	32,848,220	2.5%	肺がん	29,140,460	1.9%
不整脈	24,275,680	2.0%	肺がん	30,223,030	2.3%	統合失調症	28,202,990	1.8%
胃がん	20,720,030	1.7%	不整脈	27,006,220	2.0%	うつ病	27,131,400	1.8%
統合失調症	20,584,020	1.7%	統合失調症	22,552,480	1.7%	不整脈	27,046,830	1.8%

資料：KDBシステム 各年度累計 CSVデータ

(疾病別医療費分析(細小(82)分類))

(4) 入院医療費

平成28年度から令和2年度は、「統合失調症」「骨折」「関節疾患」が上位4疾病の中に入っている。また、「うつ病」「肺がん」「慢性腎臓病(透析あり)」も上位10疾病に入り、令和2年度は前年度と比較して「心臓弁膜症」「大腸がん」「脳出血」が新たに入っている。令和2年度の医療費割合は、前年度と比較して「骨折」以外で増加している。

(単位：円)

令和2年度			令和元年度			平成28年度		
入院総医療費 A	995,149,080		入院総医療費 A	1,069,607,960		入院総医療費 A	1,043,256,060	
疾病名	医療費 B	割合 B/A	疾病名	医療費 B	割合 B/A	疾病名	医療費 B	割合 B/A
統合失調症	94,031,170	9.4%	統合失調症	85,733,510	8.0%	統合失調症	101,402,700	9.7%
不整脈	51,673,510	5.2%	骨折	55,172,720	5.2%	骨折	42,466,450	4.1%
関節疾患	46,780,200	4.7%	関節疾患	31,964,940	3.0%	関節疾患	40,840,670	3.9%
骨折	45,662,620	4.6%	不整脈	29,505,900	2.8%	脳梗塞	36,727,330	3.5%
慢性腎臓病(透析あり)	40,021,010	4.0%	肺がん	28,774,600	2.7%	狭心症	35,897,140	3.4%
肺がん	33,159,940	3.3%	慢性腎臓病(透析あり)	26,187,790	2.4%	うつ病	29,306,600	2.8%
うつ病	25,364,770	2.5%	脳梗塞	26,155,520	2.4%	脳出血	28,277,650	2.7%
心臓弁膜症	23,102,720	2.3%	クモ膜下出血	24,962,680	2.3%	肺がん	23,696,230	2.3%
大腸がん	17,325,670	1.7%	うつ病	21,533,700	2.0%	大腸がん	22,529,570	2.2%
脳出血	17,216,980	1.7%	胃がん	18,982,610	1.8%	慢性腎不全(透析あり)	21,502,230	2.1%

資料：KDBシステム 各年度累計 CSVデータ

(疾病別医療費分析(細小(82)分類))

3) 生活習慣病の状況

(1) 上位10疾病の医療受診状況

令和2年度の医療受診状況は、前年度と比較して全ての疾病で増加している。また、「精神」「脳梗塞」「脂肪肝」以外は、奈良県を超えている。

(単位：千人率)

疾病名	御所市			奈良県		同規模		国		
	令和2年度	結果	令和元年度	平成28年度	令和2年度	平成28年度	令和2年度	平成28年度	令和2年度	平成28年度
高血圧症	471.0	↘	457.8	448.3	418.3	397.2	472.8	450.5	413.2	396.7
筋・骨格	467.2	↘	450.8	444.8	432.5	414.3	437.4	416.3	397.6	379.8
脂質異常症	398.9	↘	386.6	367.6	373.7	347.5	398.4	369.5	363.1	337.4
糖尿病	241.4	↘	230.1	223.0	216.2	200.6	254.1	234.5	226.2	210.2
精神	162.1	↔	160.9	167.5	172.2	157.6	184.4	173.1	178.0	163.1
がん	127.6	↘	124.8	124.6	118.7	107.2	110.0	97.7	105.6	95.0
高尿酸血症	84.3	↘	82.7	75.8	72.7	61.6	91.7	76.7	82.7	69.7
狭心症	78.2	↘	74.6	74.4	73.7	77.9	67.1	70.1	64.4	67.9
脳梗塞	52.3	↔	51.0	52.0	45.5	49.6	52.5	56.3	45.3	48.8
脂肪肝	55.9	↔	53.4	—	55.9	—	57.8	—	49.7	—

赤字：奈良県を超えている値 ↘：前年度も奈良県より高い疾病で前年度より高い値

↔：前年度が奈良県より低い疾病で前年度より高い値

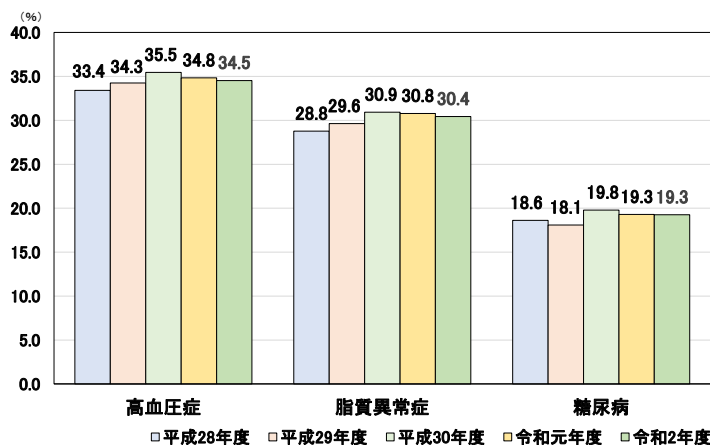
資料：KDBシステム 各年度累計

(医療費分析(1)細小分類)

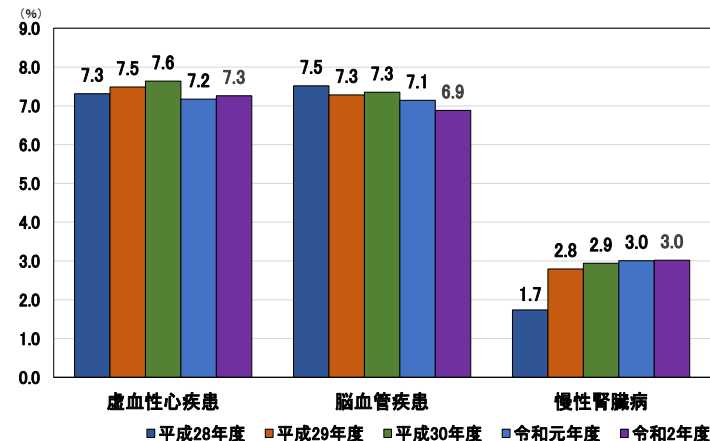
(2) 生活習慣病各疾患別医療受診の状況

各疾患別の受診状況は、基礎疾患である「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」が平成30年度までは増加し、以降は減少か横ばいとなっている。重症疾患の「虚血性心疾患」「慢性腎臓病」は平成30年度までは増加し、以降はほぼ横ばい、「脳血管疾患」は減少傾向で推移している。

<基礎疾患>



<重症疾患>



資料：KDBシステム 各年度累計 CSVデータ

(疾病管理一覧)

(3) 生活習慣病各疾病別新規受診の推移状況

令和2年度の各疾病別新規受診者の割合は、前年度と比較して「脂質異常症」「糖尿病」がやや減少し、それ以外はほぼ横ばいとなっている。疾病別人数は、「虚血性心疾患」が増加し、それ以外は横ばいか減少している。

(単位：人、%)

疾病		令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成28年度
疾病別割合	高血圧症	4.0	4.1	3.2	4.1
	脂質異常症	3.4	3.9	3.2	4.3
	糖尿病	2.6	3.0	3.2	3.4
	虚血性心疾患	1.2	1.1	1.1	1.5
	脳血管疾患	1.3	1.2	1.1	1.7
	慢性腎臓病	0.6	0.6	0.5	0.5
疾病別人数	高血圧症	265	279	225	324
	脂質異常症	227	269	225	336
	糖尿病	171	204	226	263
	虚血性心疾患	82	73	75	116
	脳血管疾患	85	85	78	134
	慢性腎臓病	40	42	32	39
国保被保険者数		6,654	6,818	7,007	7,835

資料：KDBシステム 各年度累計 CSV データ
(疾病管理一覧)

(4) 生活習慣病各疾患別重複受診の状況

i) 重複疾患の状況

重複疾患の状況は、平成28年度と比較して令和元年度で「高血圧症・脂質異常症・糖尿病・虚血性心疾患(4疾患)」が増加した状況は令和2年度でも同じ状況である。上位10疾患の医療受診割合は令和2年度が前年度と比較してほぼ横ばいか減少している。

(単位：人)

	令和2年度			令和元年度			平成28年度		
	被保険者:6,654人			被保険者:6,818人			被保険者:7,835人		
	疾病名	人数	割合	疾病名	人数	割合	疾病名	人数	割合
1	高血圧症(1疾患)	530	8.0%	高血圧症(1疾患)	554	8.1%	高血圧症(1疾患)	658	8.4%
2	高血圧症・脂質異常症(2疾患)	485	7.3%	高血圧症・脂質異常症(2疾患)	515	7.6%	高血圧症・脂質異常症(2疾患)	551	7.0%
3	脂質異常症(1疾患)	400	6.0%	脂質異常症(1疾患)	415	6.1%	脂質異常症(1疾患)	440	5.6%
4	高血圧症・脂質異常症・糖尿病(3疾患)	353	5.3%	高血圧症・脂質異常症・糖尿病(3疾患)	359	5.3%	高血圧症・脂質異常症・糖尿病(3疾患)	378	4.8%
5	高血圧症・糖尿病(2疾患)	191	2.9%	高血圧症・糖尿病(2疾患)	191	2.8%	高血圧症・糖尿病(2疾患)	211	2.7%
6	脂質異常症・糖尿病(2疾患)	143	2.1%	脂質異常症・糖尿病(2疾患)	154	2.3%	脂質異常症・糖尿病(2疾患)	180	2.3%
7	糖尿病(1疾患)	124	1.9%	糖尿病(1疾患)	152	2.2%	糖尿病(1疾患)	175	2.2%
8	高血圧症・脂質異常症・糖尿病・虚血性心疾患(4疾患)	109	1.6%	高血圧症・脂質異常症・糖尿病・虚血性心疾患(4疾患)	106	1.6%	高血圧症・脂質異常症・脳血管疾患(3疾患)	109	1.4%
9	高血圧症・脂質異常症・虚血性心疾患(3疾患)	83	1.2%	高血圧症・脂質異常症・虚血性心疾患(3疾患)	96	1.4%	高血圧症・脂質異常症・糖尿病・虚血性心疾患(4疾患)	100	1.3%
10	高血圧症・脂質異常症・脳血管疾患(3疾患)	81	1.2%	高血圧症・脂質異常症・脳血管疾患(3疾患)	90	1.3%	高血圧症・脂質異常症・虚血性心疾患(3疾患)	99	1.3%
11	高血圧症・脂質異常症・糖尿病・脳血管疾患(4疾患)	71	1.1%	高血圧症・脂質異常症・糖尿病・脳血管疾患(4疾患)	77	1.1%	高血圧症・脂質異常症・糖尿病・脳血管疾患(4疾患)	84	1.1%

赤字：前年度を超えている値

疾病名の赤字は前年度から順位が変わった疾病

資料：KDBシステム 各年度累計 CSV データ
(疾病管理一覧)

ii) 重複疾患の増加状況

重複疾患の増加状況は、平成26年度と比較して4年後の平成30年度は539人14.4%の人数が増加している。1疾病は248人18.6%と最も多く、2疾病178人14.5%、3疾病91人11.7%と続いている。どの疾病数も同じ疾病数のままの人が35%前後で、1疾病増加している人の割合が高くなっている。

経年で見ると、平成26年度から2年経過した平成28年度は50%以上で同じ疾病数を維持しているが、その後1年経過する毎に疾病数を維持している割合が約10%減少している。

重症化予防のためには、疾病を増やさないような対策が必要である。

疾患数別	平成26年度	⇒	平成30年度	割合	平成26年度	令和2年度	割合
全体	3,733人	⇒	539人	14.4	2,538人	537人	21.2
増加割合	医療受診者	⇒	増加人数	割合	医療受診者	増加人数	割合
1疾病	1,330	⇒	248	18.6	909	263	28.9
2疾病	1,229	⇒	178	14.5	859	174	20.3
3疾病	775	⇒	91	11.7	539	78	14.5
4疾病	297	⇒	19	6.4	187	20	10.7
5疾病	93	⇒	3	3.2	41	2	4.9
6疾病	9	⇒	-	-	3	-	-

(単位：人、%)

疾患数別	平成26年度		平成28年度(2年後)												
	医療受診者	1疾患	割合	2疾患	割合	3疾患	割合	4疾患	割合	5疾患	割合	6疾患	割合	受診歴無	割合
1疾病	1330	745	56.0	170	12.8	27	2.0	4	0.3	0	0.0	0	0.0	384	28.9
2疾病	1,229	90	7.3	691	56.2	127	10.3	24	2.0	0	0.0	0	0.0	297	24.2
3疾病	775	15	1.9	71	9.2	446	57.5	67	8.6	2	0.3	0	0.0	174	22.5
4疾病	297	3	1.0	5	1.7	34	11.4	150	50.5	19	6.4	4	1.3	82	27.6
5疾病	93	0	0.0	1	1.1	5	5.4	11	11.8	38	40.9	2	2.2	36	38.7
6疾病	9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	22.2	4	44.4	3	33.3
疾患数別	平成26年度		平成29年度(3年後)												
	医療受診者	1疾患	割合	2疾患	割合	3疾患	割合	4疾患	割合	5疾患	割合	6疾患	割合	受診歴無	割合
1疾病	1330	610	45.9	182	13.7	41	3.1	7	0.5	0	0.0	0	0.0	490	36.8
2疾病	1,229	96	7.8	571	46.5	135	11.0	24	2.0	1	0.1	0	0.0	402	32.7
3疾病	775	16	2.1	68	8.8	369	47.6	71	9.2	4	0.5	0	0.0	247	31.9
4疾病	297	3	1.0	10	3.4	33	11.1	117	39.4	20	6.7	2	0.7	112	37.7
5疾病	93	0	0.0	1	1.1	4	4.3	7	7.5	27	29.0	2	2.2	52	55.9
6疾病	9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	33.3	6	66.7
疾患数別	平成26年度		平成30年度(4年後)												
	医療受診者	1疾患	割合	2疾患	割合	3疾患	割合	4疾患	割合	5疾患	割合	6疾患	割合	受診歴無	割合
1疾病	1330	515	38.7	192	14.4	45	3.4	10	0.8	1	0.1	0	0.0	567	42.6
2疾病	1,229	83	6.8	457	37.2	149	12.1	29	2.4	0	0.0	0	0.0	511	41.6
3疾病	775	10	1.3	72	9.3	291	37.5	78	10.1	11	1.4	2	0.3	311	40.1
4疾病	297	3	1.0	10	3.4	31	10.4	101	34.0	19	6.4	0	0.0	133	44.8
5疾病	93	0	0.0	1	1.1	4	4.3	7	7.5	21	22.6	3	3.2	57	61.3
6疾病	9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	33.3	6	66.7

赤字：割合が一番高い値

資料：KDBシステム 各年度累計 CSVデータ
(疾病管理一覧)

(5) 新規透析患者の推移状況

新規透析患者の推移状況は、平成28年6月から令和3年7月までの間に26人の新規患者がいる状況である。どの患者もほぼ「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」と重なった疾病を持つ人が多い状況である。また、透析前に「慢性腎臓病」で医療にかかる人が15人57.7%となっている。

新規患者を増やさないためには、「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」対策や、「慢性腎臓病」で新規に医療にかかった人へのアプローチが必要である。

新規透析月	年齢	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
H28.6	60	高脂糖腎	高脂糖腎	高脂糖腎	高糖心	高糖心	高糖心			
"	56			高脂糖脳腎	高脂糖脳腎	高				
H28.9	68	高脂	高脂	高脂	高脂腎	高脂	高脂			
H29.6	74	高	高脳	高脳	高脳腎	高脳腎				
"	54	高糖	高糖	高糖	高糖腎	透析				
"	64		高脂	高脂	高脂腎	高腎				
H29.9	49					脂糖心腎	脂糖心腎			
H30.6	63					高心	高心			
"	71					高脂腎	高脂腎			
H30.7	46						高糖尿			
"	71	高心	高	高	高	高	高脂			
H30.9	64	高心	高心	高心	高心	高心腎	高心脳腎	高脳尿		
R1.6	62				高脂糖	高脂糖腎	高脂糖腎	高糖尿腎		
"	68	医療データ無						高糖脳尿腎		
R1.7	71	医療データ無						透析		
R1.8	69	高糖脳	高糖脳	高脂糖心脳	高糖脳	高糖脳	高脂糖心脳腎	糖心脳腎		
R1.9	63			高脂糖	高糖	高脂糖	高脂糖腎	高糖心脳腎		
R2.6	50							高脂心腎	高脂心脳腎	高脂心脳腎
R2.6	44		高脂糖心腎	高脂糖心腎	高脂糖心腎	高脂糖心腎	高脂糖心腎	高脂糖心脳腎	高脂糖心脳腎	
R2.7	51		高脂糖腎			高脂糖腎	高脂糖腎		高脂糖腎	
R2.7	70	医療データ無							高糖心脳腎	高糖心脳腎
R2.8	58		高	高	高	高	高	高糖	高糖	
R2.9	53	医療データ無							糖心腎	
R2.9	40		高脂糖	高脂糖	高脂糖	高脂糖腎	高脂糖腎	高脂糖腎	高脂糖腎	高脂糖腎
R3.3	74		高脂糖心脳	高脂糖心脳	高脂糖心脳	高脂糖心脳腎	高脂糖心脳腎	高脂糖心脳	高脂糖心脳腎	高脂糖心脳腎
R3.6	64	医療データ無								高脂糖心腎

高: 高血圧症、脂: 脂質異常症、糖: 糖尿病

心: 虚血性心疾患、脳: 脳血管疾患

腎: 慢性腎臓病、高尿: 高尿酸血症

※KDBシステム疾病管理一覧 H26～R3年度 厚生労働省様式(様式2-2)

赤字: 人工透析開始年度

緑字: 慢性腎臓病

資料: KDBシステム 各年度累計 CSV データ
(疾病管理一覧)
(厚生労働省様式(様式2-2))

4) 特定健康診査の状況

(1) 特定健康診査有所見者の状況

有所見者の状況は、男女ともに平成 28 年度と比較して令和 2 年度で奈良県を超えている項目は「拡張期血圧」「中性脂肪」「クレアチニン」である。また、男性の「BMI」「収縮期血圧」「ALT (GPT)」より奈良県より低くなり、「腹囲」「HDL」「HbA1c」に変化はない。女性の「腹囲」「ALT (GPT)」は奈良県より低くなり、「HDL」「尿酸」は奈良県を超え、「BMI」「収縮期血圧」に変化はない。

(単位：%)

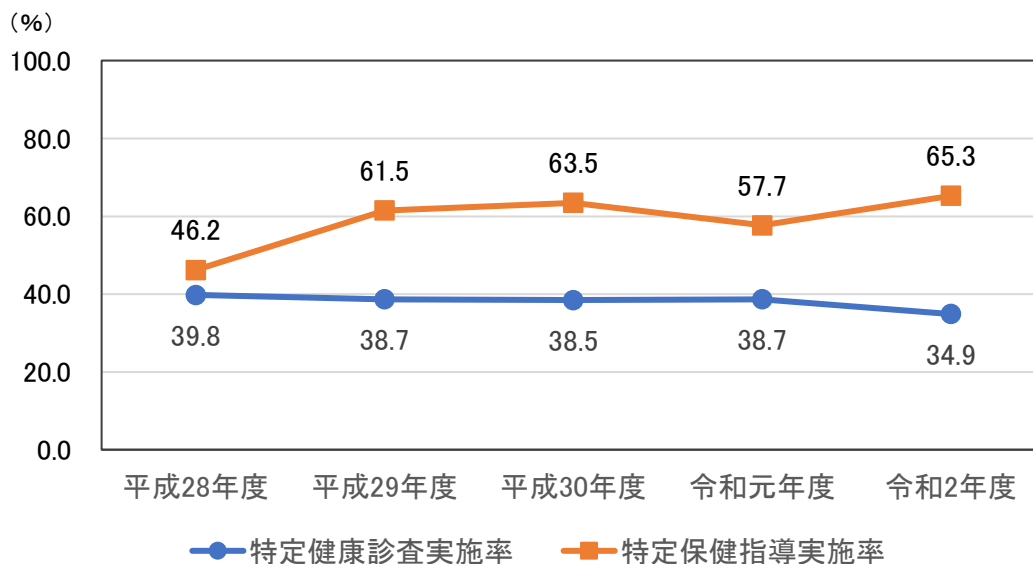
性別	比較対象	BMI	腹囲	血圧 (収縮期血圧)	血圧 (拡張期血圧)	中性脂肪	ALT(GPT)	HDL	LDL	HbA1c	尿酸	クレアチニン
		25以上	男性85以上 女性90以上	130以上	85以上	150以上	31以上	40未満	120以上	5.6以上	7.0以上	1.3以上
男性	御所市(H28年度)	29.7	51.8	59.4	30.6	32.9	20.0	9.1	46.5	52.8	16.8	2.2
	御所市(R元年度)	30.2	53.8	52.7	25.1	29.9	18.1	6.5	47.7	56.1	14.5	2.6
	御所市(R2年度)	32.3	58.3	52.9	24.9	27.8	21.1	7.5	46.2	54.2	13.4	3.3
	奈良県(R2年度)	32.9	56.8	53.5	24.1	27.4	21.7	6.2	48.7	53.6	15.0	2.4
	国(R2年度)	34.4	55.7	52.6	26.6	29.0	23.1	7.5	48.3	56.8	12.8	2.4
女性	御所市(H28年度)	19.7	17.3	50.9	18.2	17.9	8.4	1.1	57.1	45.3	1.7	0.3
	御所市(R元年度)	20.0	17.0	49.0	16.2	16.6	8.8	1.5	54.7	48.0	2.1	0.4
	御所市(R2年度)	20.9	17.4	50.9	16.4	17.5	9.1	1.4	50.2	45.6	1.9	0.6
	奈良県(R2年度)	19.5	17.8	47.5	15.8	15.3	9.3	1.0	58.8	48.3	1.8	0.2
	国(R2年度)	22.3	19.5	47.3	17.0	16.5	9.7	1.3	57.3	55.4	1.9	0.3

赤字：奈良県を超えている値

資料：KDBシステム 令和元年度（2019年度）累計
（厚生労働省様式（様式5-2））

(1) 特定健康診査、特定保健指導実施率の状況

特定健康診査実施率の推移は、平成 29 年度～令和元年度がほぼ横ばいで推移し、令和 2 年度は 34.9%と減少している。特定保健指導の推移は、平成 28 年度～平成 30 年度が増加傾向で推移し、令和元年度は減少しているが令和 2 年度は 65.3%と最も高くなっている。



資料：奈良県国民健康保険団体連合会
（各年度 法定報告）

(3) 質問項目の状況

質問項目の状況は、平成28年度と比較して令和2年度で新たに奈良県を超えている項目が「慢性腎臓病.腎不全」「ほとんどかめない」「睡眠不足」、減少している項目は「心臓病」「1回30分以上の運動習慣なし」となっている。また、令和2年度の飲酒「1～2合」「2～3合」「3合以上」の割合が前年度と比較して減少している。

生活習慣		平成28年度	令和元年度	令和2年度		奈良県 令和2年度
		割合	割合	割合	増減	割合
服薬	高血圧症	35.4%	35.1%	36.4%	➡	35.7%
	糖尿病	8.5%	9.7%	11.0%	➡	8.1%
	脂質異常症	26.8%	28.6%	30.6%	➡	29.5%
既往歴	脳卒中	3.5%	3.3%	3.6%	➡	3.3%
	心臓病	5.4%	5.7%	5.6%	➡	5.7%
	慢性腎臓病.腎不全	0.4%	0.9%	1.2%	➡	1.1%
	貧血	10.3%	9.5%	9.9%	➡	11.3%
	喫煙	15.3%	13.2%	12.7%	➡	9.9%
体重	20歳時体重から10kg以上増加	32.7%	32.9%	33.7%	➡	33.9%
	1年間で体重増減3kg以上	21.0%	—	—	—	—
運動	1回30分以上の運動習慣なし	51.3%	57.3%	56.1%	➡	56.3%
	1日1時間以上運動なし	44.5%	41.3%	42.7%	➡	48.0%
	歩行速度遅い	52.1%	49.7%	49.8%	➡	48.4%
咀嚼	何でも	—	77.9%	77.6%	➡	78.9%
	かみにくい	—	21.6%	21.5%	➡	20.5%
	ほとんどかめない	—	0.5%	0.9%	➡	0.6%
食習慣	食べる速度が速い	24.4%	25.6%	26.1%	➡	28.1%
	食べる速度が普通	66.2%	66.2%	66.0%	➡	64.1%
	食べる速度が遅い	9.4%	8.2%	8.0%	➡	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	12.8%	13.3%	12.8%	➡	12.1%
	週3回以上夕食後間食	12.3%	—	—	—	—
	朝昼夕3食以外の間食や甘い飲物 毎日	—	24.3%	25.1%	➡	27.1%
	朝昼夕3食以外の間食や甘い飲物 時々	—	55.6%	56.0%	➡	55.3%
	朝昼夕3食以外の間食や甘い飲物 ほとんど摂取しない	—	20.1%	18.9%	➡	17.6%
週3回以上朝食を抜く	7.5%	6.5%	6.3%	➡	6.5%	
飲酒	毎日飲酒	25.0%	23.5%	22.3%	➡	23.9%
	時々飲酒	17.3%	17.4%	19.7%	➡	21.2%
	飲まない	57.7%	59.1%	58.0%	➡	55.0%
	1合未満	58.6%	61.3%	64.5%	➡	74.7%
	1～2合	28.5%	25.3%	24.6%	➡	17.7%
	2～3合	10.7%	10.9%	8.5%	➡	6.1%
	3合以上	2.2%	2.5%	2.4%	➡	1.6%
	睡眠不足	23.6%	25.8%	24.3%	➡	24.2%
生活習慣改善	改善意欲なし	25.3%	26.5%	26.8%	➡	25.7%
	改善意欲あり	30.0%	29.9%	28.8%	➡	31.6%
	改善意欲ありかつ始めている	12.6%	11.3%	11.3%	➡	12.4%
	取り組み済み6か月未満	7.2%	9.8%	9.7%	➡	9.4%
	取り組み済み6か月以上	24.9%	22.5%	23.5%	➡	20.8%
	保健指導利用しない	59.8%	63.6%	63.8%	➡	56.7%

赤字：奈良県を超えている値 ➡：前年度より高い ➡：前年度より低い
 ➡：前年度より高い ➡：前年度と同じ ➡：前年度より低い

資料：KDBシステム 各年度累計
 (質問票調査の経年比較)

2. 医療費適正化対策

医療費適正化対策は、令和元年度、令和2年度において「医療費通知」「レセプト点検業務」「柔道整復等療養費支給申請書二次点検業務」で計画どおり全レセプトで実施している。

対策事業	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
医療費通知	全レセプト	全レセプト	全レセプト
後発医薬品（ジェネリック） 促進通知			被保険者の2%に通知し、 普及率数量ベースで58%
レセプト点検業務	療養費を除く全レセプト	療養費を除く全レセプト	療養費を除く全レセプト
柔道整復等療養費支給 申請書二次点検業務	柔道整復等の全レセプト	柔道整復等の全レセプト	柔道整復等の全レセプト

資料：保険課

3. 保健事業の実績

1) 生活習慣病発症予防

i 国保保健事業

(1) 既存事業

計画策定時と比較してどの年度も「特定保健指導」を除く事業で減少している。

対策事業	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
特定健康診査	34.9%	38.7%	H28年度 39.8%
特定保健指導	65.3%	57.7%	H28年度 46.2%
糖尿病等起因歯科 健康診査	10人	36人	H28年度 72人
生活習慣病予防教室	32人	35人	H28年度 89人
生活習慣改善事業	35人	55人	H28年度 915人
特定健診受診推進事業（特 定健診補助金・結果提出者 粗品進呈）	1,409人 (交付率 79.5%)	1,577人 (交付率 77.0%)	H28年度 1,648人 (交付率 69.7%)
特定健診未受診者への受 診勧奨事業（H28～夜間も 実施する）	3,846人	4,713人	H28年度 4,911人

資料：健康推進課

ii 健康増進事業

(1) 既存事業

令和2年度は、「歯周疾患検診」「健康相談」が計画策定時より増加しているが、その他は減少している。また、「歯周疾患検診」は目標値を大きく超えている。

対策事業	目標値	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
骨粗鬆症検診	130人	68人	76人	103人
歯周疾患検診	50人	140人	44人	37人
健康相談 (延参加者数)	50人	32人	140人	20人
GOGO ウォーキング倶楽部 指導者養成講座 (実参加者数)	実参加者 50人 延参加者 増加	実参加者 13人 延参加者 26人	実参加者 14人 延参加者 26人	実参加者 17人 延参加者 64人
健康づくり推進員養成講座	推進員数 180人 延参加者 500人	推進員数 60人 延参加者 233人	推進員数 64人 延参加者 240人	推進員数 83人 延参加者 286人
スマイルクラブ	延参加者 2,900人 延回数 150回	延参加者 386人 延回数 36回	延参加者 1,302人 延回数 67回	延参加者 2,710人 延回数 144回

資料：健康推進課

(2) 新規事業

「(仮) たばこ対策事業 (COPD 対策)」は未実施となっている。

対策事業	目標値	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
(仮) たばこ対策 事業 (COPD 対策)	市内1か所	0	0	—

資料：健康推進課

2) 生活習慣病重症化予防

i 国保保健事業

(1) 既存事業

計画策定時と比較して、令和2年度は全ての対策事業で減少している。また、前年度からも減少している。

対策事業	目標値	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
糖尿病等治療勸奨推進事業(医療受診者)	100%	54.3%	59.3%	72.2%
慢性腎臓病(CKD)対策事業(医療受診者)	100%	50.0%	59.1%	72.0%
人間ドック助成事業	120人	44人	58人	100人
脳ドック助成事業	110人	38人	48人	90人

資料：保険課

3) がんの予防

i 健康増進事業

(1) 既存事業

計画策定時と比較して令和2年度は「肝炎ウイルス検診」「胃がん検診」を除く検診で減少している。また、「肝炎ウイルス検診」は目標値に達している。また、前年度と比較して「肝炎ウイルス検診」を除く健診で減少している。

対策事業	目標値	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
肝炎ウイルス検診	60人	109人	101人	30人
胃がん検診	15.0%	6.1%	6.6%	5.1%
肺がん検診	15.0%	2.6%	5.2%	4.7%
大腸がん検診	17.0%	5.4%	6.4%	6.8%
乳がん検診	18.0%	10.8%	12.7%	11.3%
子宮がん検診	20.0%	9.2%	9.9%	14.0%
前立腺がん検診	15.0%	5.1%	6.8%	6.8%

資料：健康推進課

(2) 新規事業

「大腸がん検診要精検未受診者への受診勧奨通知」は未実施となっている。また、令和2年度の「大腸がん検診要精検未受診率」は前年度より減少している。

対策事業	目標値	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
大腸がん検診要精検未受診者への受診勧奨通知	要精検未受診者全員に通知	11人	—	—
大腸がん検診要精検未受診率	減少	15.8%	25%	23.2%

資料：健康推進課

3) 介護の適正給付

i 介護予防事業

(1) 既存事業

計画策定時と比較して令和2年度の「在宅高齢者「食」の自立支援」「機能向上事業」は増加している。また、「在宅高齢者「食」の自立支援」以外は前年度から減少している。

対策事業	目標値	令和2年度 実績又は見込	令和元年度 実績	計画策定時 現状値
介護予防事業		回× 箇所 延人数 , 人	回× 箇所 延人数 , 人	22回×5箇所 延人数 2,476人
介護予防栄養改善事業				
口腔機能向上事業		回× 箇所 延人数 人	回× 箇所 延人数 人	5回×5箇所 延人数 137人
地域住民グループ支援事業(友愛活動推進チーム)	50チーム	46チーム	66チーム	48チーム
在宅高齢者「食」の自立支援事業	65人	53人	40人	48人
認知症サポーター養成講座	215人	2箇所 延人数 25人	5箇所 延人数 122人	H28年度末21箇所 参加人数 581人
(仮) 地域支援事業 機能向上事業 いきいき百歳体操を1回/ 週実施している住民主体 の介護予防活動グループ		15箇所	31箇所	2箇所

資料：高齢対策課

4. 課題

項目	中間評価時の現状と課題	令和2年度評価
国保被保険者と医療受診率と医療費	<p>国保の加入率は、奈良県より高くなっている。国保被保険者の高齢化率（45.8%）は市の高齢化率（40.4%）と比較して5.4%高い。医療受診率は増加傾向で推移、奈良県・国の平均を上回っている。奈良県・国と比較して1件当たり医療費、入院医療費割合が高く、入院医療費割合が増加。</p>	<p>医療受診率、1人当たり医療費は令和元年度にやや増加し、令和2年度は減少しているが、1件当たり医療費は毎年度増加している。</p>
生活習慣病の受診率と医療費	<p>奈良県と比較して「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」「動脈硬化症」「高尿酸血症」「脳梗塞」「がん」「筋・骨格系」などの生活習慣病で医療にかかる人が多く、平成28年度と比較して変化なし。また、奈良県と比べて「痛風・高尿酸血症」「脳梗塞」「骨折」「骨粗しょう症」「慢性腎不全（透析あり）」「肺がん」「胃がん」「肝がん」「腎臓がん」「前立腺がん」の1件当たり医療費が奈良県を超えて高く、生活習慣病の医療受診率は40・50歳代から増加し、平成28年度と比較して変化なし。40・50歳代の若い年代に対する生活習慣病予防対策が引き続き必要となっている。</p> <p>生活習慣病6疾病のうち「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」を併せ持つ人が多く、平成28年度と比較して割合が増加している。また、これらの疾病が重なって重症化していることから重複して疾病を増やさないようにするための対策が引き続き必要である。</p> <p>人工透析患者の併せ持つ疾病は、「高血圧症」が最も割合が高く、90%です。「糖尿病」「脂質異常症」「虚血性心疾患」「高尿酸血症」の割合も高く、平成28年度と比較して割合が増加している。「慢性腎臓病（CKD）」に対する対策が引き続き必要となっている。</p> <p>「虚血性心疾患」「脳血管疾患」が併せ持つ「高血圧症」は70%、「脂質異常症」は60%、「糖尿病」は40%を超えている。「高血圧」「高血糖」「高コレステロール」「高中性脂肪」等のレッドカード対策は、「虚血性心疾患」「脳血管疾患」予防対策のために引き続き必要となっている。</p>	<p>レセプト件数（千人率）からみると全ての疾病で増加している。また、「精神」「脳梗塞」「脂肪肝」以外は奈良県を超えている。また、入院医療費の上位10疾病に肺がん、大腸がんが入り、肺がんはレセプト件数、総点数が増加している。</p> <p>実人数からみた生活習慣病6疾病の中で高血圧症、脂質異常症、糖尿病、虚血性心疾患、脳血管疾患、慢性腎臓病は令和2年度までの3年間は減少か横ばいとなっている。また、この6疾病を併せ持つ重複疾病の状況もほぼ同じような状況である。</p> <p>人工透析新規患者は、ほぼ全て高血圧症を持ち、「脂質異常症」「糖尿病」「慢性腎臓病」と重なった疾病を持つ人が多い。また、医療にかかりながら透析を受けることになった人が多い。</p>
特定健診受診率と健診結果	<p>特定健診の実施率は、近年伸び悩み、目標値に届いていない。また、健診結果でも奈良県と比較して、男女ともに「中性脂肪」「血圧」「クレアチニン」、男性の「HbA1c」、女性の「BMI」「ALT（GPT）」「HDL」「尿酸」で割合が高く、要医療の割合も高くなっている。さらに、メタボ該当者の割合も奈良県を超えている。</p> <p>奈良県を超えている検査項目、メタボ該当者の割合も毎年度同じ状況で推移している。</p> <p>特定健診受診者を増やし、健康意識を高め、自身の健康状態を知り、生活習慣を改善するための対策が必要である。</p>	<p>特定健診の実施率は、令和2年度が34.9%と減少している。目標値に届いていない。男女ともにH28年度と比較してR2年度で奈良県を超えている項目は「拡張期血圧」「中性脂肪」「クレアチニン」である。男性の「BMI」「収縮期血圧」「ALT（GPT）」は改善し、「腹囲」「HDL」「HbA1c」に変化はない。女性の「腹囲」「ALT（GPT）」は改善し、「HDL」「尿酸」は悪化、「BMI」「収縮期血圧」に変化はない。</p>

項目	中間評価時の現状と課題	令和2年度評価
特定保健指導終了率と指導の成果	<p>特定保健指導の実施率は、平成30年度63.5%、令和元年度が57.7%と目標値に届いている。</p> <p>動機付け支援・積極的支援の対象者率は、ほぼ毎年度奈良県を超えて高いため、減少させる必要がある。</p> <p>特定保健指導実施率、脱却率を上げていく必要がある。</p>	<p>特定保健指導の実施率は、平成28から平成30年度が増加傾向で推移し、令和元年度は減少しているが令和2年度は65.3%と最も高くなり、目標値も超えている。</p>
生活習慣（食事・運動）、減塩対策、喫煙対策、飲酒対策	<p>特定健康診査質問票で、奈良県と比較して喫煙、飲酒、食事習慣に改善を要する人の割合が高い。平成28年度と比較して「1回30分以上の運動習慣なし」「週3回以上就寝前夕食」「飲酒2～3合」「飲酒3合以上」の割合が増加している。生活習慣病の予防のために何らかの対策が必要である。</p>	<p>質問項目の状況は、H28年度と比較して令和2年度に新たに奈良県を超えて増えた項目が「慢性腎臓病・腎不全」「ほとんどかめない」「睡眠不足」、減少している項目は「心臓病」「1回30分以上の運動習慣なし」となっている。また、令和2年度の飲酒「1～2合」「2～3合」「3合以上」の割合が前年度と比較して減少している。</p>

5. 対策事業の評価

事業名	実績									対象者	ストラクチャー		
	H28	H29	H30	R1	R2	R2 評価		R3	R4		担当	実施時期等	
	○:できている △:どちらとも言えない ×:できていない												
医療費適正化対策	医療費通知	全レセ	全レセ	全レセ	全レセ	全レセ	○	目標達成			国保被保険者	保険課事務職	年6回
	レセプト点検業務(療養費除く)	全レセ	全レセ	全レセ	全レセ	全レセ	○	目標達成			国保被保険者	保険課事務職	通年
	柔道整備等療養費支給申請書二次点検業務	全レセ	全レセ	全レセ	全レセ	全レセ	○	目標達成			国保被保険者	保険課事務職	通年
生活習慣病の発症予防	特定健康診査	39.8%	38.7%	38.5%	38.7%	34.9%	×	コロナの影響で受診者が減少			国保被保険者(30~74歳)	健康推進課保健師	集団・個別健診体制確保
	特定保健指導	46.2%	61.5%	63.5%	57.7%	65.3%	○	目標達成			国保被保険者(30~74歳)	健康推進課保健師	通年
	糖尿病等起因歯科健康診査	72人	46人	29人	36人	10人	×	コロナの影響で受診者が減少			国保被保険者(30~74歳)	健康推進課保健師	4回/年
	生活習慣病予防教室	89人	50人	34人	35人	32人	×	コロナの影響で参加者が減少			将来的に生活習慣病のリスクのある人	健康推進課保健師	3クール/年
	生活習慣改善事業	915人	871人	820人	55人	35人	×	コロナの影響で参加者が減少			集団特定健診受診者	健康推進課保健師	集団健診と同時実施
	特定健診受診推進事業(内交付率)	1,729人(73.14%)	1,525人(72.0%)	1,497人(73.1%)	1,577人(77.0%)	1,409人(79.5%)	○	交付率は増加している。			かも〜君補助金:初回健診受診者、継続健診受診者 検診結果提出者:特定健診以外の人間ドックや会社の健診等の特定健診相当分の検査項目を報告した人	健康推進課保健師	健診受診者申請時点〜
	特定健診未受診者への受診勧奨事業	4,911人全未受診者	4,879人全未受診者	4,862人全未受診者	4,713人全未受診者	3,846人全未受診者	○	全未受診者を対象として実施			特定健診未受診者	健康推進課保健師	4月~12月
	骨粗鬆症検診	103人	60人	84人	76人	68人	×	コロナの影響で受診者が減少			20歳以上の市民	健康推進課保健師	年2回
	歯周疾患検診	37人	47人	42人	44人	140人	○	目標達成			40・50・60・70歳の節目の市民	健康推進課保健師	関係機関等の調整
	健康相談(延参加者数)	20人	69人	91人	140人	32人	×	コロナの影響で参加者が減少			20歳以上の市民	健康推進課保健師	年6回
	GOGOウオーキング倶楽部指導者養成講座(実参加者数)	実17人 延64人	実40人 延40人	実16人 延24人	実14人 延26人	実13人 延26人	×	コロナの影響で参加者が減少			20歳以上の市民	健康推進課保健師	年4回
	健康づくり推進員養成講座	員数83人 延286人	員数64人 延187人	員数60人 延136人	員数64人 延240人	員数60人 延238人	×				自治会長から推薦された市民	健康推進課保健師	1年目9回2年目5回+地域活動
	スマイルクラブ	延2,710人 延回144回	延1,081人 延回70回	延748人 延回65回	延1,302人 延回67回	延386人 延回36回	×	コロナの影響で参加者が減少			市民全般	健康推進課保健師	通年
	(仮)たばこ対策事業(COPD対策)	—	0	0	0	0	—	—			20歳以上の市民	健康推進課保健師	年1回
生活習慣病の重症化予防	糖尿病等治療勧奨推進事業(医療受診者)	72.2%	58.8%	64.6%	59.3%	54.3%	×	コロナの影響で参加者が減少			特定健診受診者のうち要件に該当する人	健康推進課保健師	健診受診後〜
	慢性腎臓病(CKD)対策事業(医療受診者)	72.0%	72.2%	67.2%	59.1%	50.0%	×	コロナの影響で参加者が減少			特定健診受診者のうち要件に該当する人	健康推進課保健師	健診受診後〜
	人間ドック助成事業	100人	78人	76人	58人	44人	×	コロナの影響で受診者が減少			国保被保険者満35歳以上	保険課	5月~12月
	脳ドック助成事業	90人	94人	49人	48人	38人	×	コロナの影響で受診者が減少			国保被保険者満35歳以上	保険課	5月~1月
がんの予防	肝炎ウイルス検診	30人	82人	32人	101人	109人	○	目標達成			40歳以上で1度も検査を受けたことのない人	健康推進課保健師	5月~翌年2月末日まで
	胃がん検診	5.1%	8.8%	9.5%	6.6%	6.1%	×	コロナの影響で受診者が減少			胃・肺・大腸がん:40歳以上の男女 子宮がん:20歳以上女性 乳がん:40歳以上の女性 前立腺がん:50歳以上の男性	健康推進課保健師	5月~翌年2月末日まで 子宮がん検診2年に1回 胃・肺・大腸・前立腺がん年1回
	肺がん検診	4.7%	6.6%	6.9%	5.2%	2.6%	×	コロナの影響で受診者が減少					
	大腸がん検診	6.8%	8.2%	9.4%	6.4%	5.4%	×	コロナの影響で受診者が減少					
	乳がん検診	11.3%	16.4%	16.6%	12.7%	10.8%	×	コロナの影響で受診者が減少					
	子宮がん検診	14.0%	15.2%	15.2%	9.9%	9.2%	×	コロナの影響で受診者が減少					
	前立腺がん検診	6.8%	9.5%	10.8%	6.8%	5.1%	×	コロナの影響で受診者が減少					
	大腸がん検診要精検未受診者への受診勧奨通知	—	—	—	—	11人	○	令和2年度に初めて通知文送付			要精検未受診者	健康推進課保健師	通年
大腸がん検診要精検未受診率	23.2%	25.0%	38.2%	25.0%	15.8%	○	コロナの影響で受診者が減少				健康推進課保健師		
介護の適正給付	地域住民グループ支援事業(友愛活動推進チーム)	48チーム	53チーム	64チーム	66チーム	46チーム	×	コロナの影響で受診者が減少			地域の自主活動に関心のある高齢者等	高齢対策課事務職	通年
	在宅高齢者「食」の自立支援事業	48人	47人	41人	40人	53人	○	利用者は増加している			虚弱な単身高齢者・高齢者のみせ帯	高齢対策課事務職	毎月
	認知症サポーター養成講座	21か所 参加581人	13か所 延377人	10か所 延281人	5か所 延122人	2か所 延25人	×	コロナの影響で減少			認知症に関心のある人	高齢対策課地域包括支援センター	通年
	(仮)地域支援事業機能向上事業	2か所	14か所	26か所	31か所	15か所	×	コロナの影響で減少			65歳以上の介護予防に関心のある人	高齢対策課専門職	年2回

プロセス			アウトプット				アウトカム					
指標	目標値 (R5年度)	評価	指標	目標値 (R5年度)	評価	今後の方向性	指標	実績(H28)	実績(R2)	目標値 (R5年度)	評価	今後の方向性
実施回数	年6回	○	点検実施	全レセ	○	これからも継続して実施	1人当たり医療費	361,407円	378,914円	減少	△	医療高度化による医療費増は避けられないが、取組は継続。
点検数	全レセ	○	点検実施	全レセ	○	これからも継続して実施	効果額	413万円/年間	674万円/年間	500万円/年間	○	より効果的に実施
点検数	全レセ	○	点検実施	全レセ	○	これからも継続して実施	効果額	17万円/年間		25万円/年間	△	より効果的に実施
実施	6月～12月	○	実施率	60%	×	・勧奨実施時期を早める ・留守宅勧奨通知文、受診希望者実受診確認を実施する	メタボ予備群・該当者の減少率	該当者 17.1% 予備群 12.2%	該当者 20.2% 予備群 11.3%	減少	△	予備群は減少しているが、該当者は増加している。健診を受ける人を増やし、必要の人に保健指導を必ず実施する。
対象者へのアプローチ	全対象者	○	実施率	60%	○	これからも継続して実施	メタボ脱却率	30.7%	23.3%	増加	×	指導対象者が積極的に指導に参加できるよう利用勧奨を積極的に進めていく。
実施回数	4回/年	○	受診人数	80人	×	継続して実施していく予定	・精検受診率 ・歯科1人当たり医療費 ・糖尿病入院受診率	72.2% 2,108円 男性0.5%、女性0.3%	60% 2,267円 男性:0.4%、女性:0.3%	100% 減少 減少	△	感染症の影響を考慮しながら実施し、受診者増加を目指して啓発方法を検討していく。
実施回数	3クール/年	○	参加人数	80人	×	予防接種事業との兼ね合いもみながら実施	・有所見者の割合 ・質問項目の割合	奈良県を超えている項目 男性 9項目 女性 7項目	奈良県を超えている項目 男性 6項目 女性 7項目	減少 減少	△	減少はしているが、必要の人に対し教室の案内を実施する。
実施回数	集団健診と同時実施	○	実施人数	1,000人	×	予防接種事業との兼ね合いもみながら実施						感染症予防の観点も考慮しながら進めていく。
普及啓発パンフレット送付	全対象者への送付	○	交付率	90%	×	健診の無料化に向けて検討中	特定健診実施率	39.8%	34.9%	60%	×	令和4年度より健診無料化に向けて検討中
未受診者の実態把握	60%	△	勧奨人数	全未受診者	○	健診未受診者全員を対象として実施する	特定健診実施率	39.8%	34.9%	60%	×	過去10年以上の健診結果を分析し、効果の上がる受診勧奨を目指す。
実施回数	年2回	○	受診人数	130人	×	感染症対策を講じながら実施	骨粗鬆症のレセプト件数と医療費	レセプト件数 742件 医療費 22,591,180円	レセプト件数 889件 医療費 19,734,640円	減少	△	広報等での周知啓発方法の工夫、健診回数の増加
実施	5月1日～翌年2月末まで	○	受診人数	50人	○	継続して実施していく予定	60歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合	H28には60歳～の指標なし 80歳～ 34.8%	60歳～ 75.9%	H38 50%	○	さらに受診者が増えるよう、対象者に対して分かりやすい健診啓発方法を検討していく。
実施回数	年6回	○	延べ参加人数	50人	×	個別対応で実施予定	1回30分以上の運動習慣なし	51.3%	56.1%		○	個人に合わせた相談方法で実施し、広報等で周知する
実施回数	年4回	○	参加人数	実証 50人 増加	×	感染症拡大の影響を考慮しながら実施	20歳時体重から10kg以上増加	32.6%	33.7%		×	自主グループに加入できるよう新規参加者の獲得をめざす。
実施回数	1年目年9回 2年目年5回 +地域活動	○	推進員数 延べ人数	員数180人 延 500人	×	感染症拡大の影響を考慮しながら実施	喫煙者 毎日飲酒する人	15.2% 25.0%	12.7% 22.3%	減少	○	感染症対策を講じながら、地域の健康づくりを担う推進員を養成していく。
実施回数	延回 150回	×	延べ人数 延回数	延 2,900人 延回 150回	×	感染対策を講じながら実施予定					○	自主グループ活動が活発に行えるよう整えていく。
実施回数	年1回	×	実施	市内1ヶ所	×	禁煙相談の参加者数の増加を図るためPRの工夫をする	・喫煙者 ・肺がん入院レセプト件数と医療費 ・COPD外来レセプト件数と医療費	15.2% 28件 23,696,230円 57件 2,376,800円	12.7% 40件 33,159,940円 105件 4,147,980円	減少	×	ホームページの掲載や商工会へ働きかけ、禁煙相談参加者の増加を目指す
対象者へのアプローチ	全対象者	○	医療受診割合	100%	×	医療受診勧奨を継続して実施						
対象者へのアプローチ	全対象者	○	医療受診割合	100%	×	医療受診勧奨を継続して実施	疾病割合 ・虚血性心疾患 ・脳血管疾患 ・人工透析者	4.2% 3.6% 20人	7.3% 6.9% 18人	増加	×	医療機関受診がしやすいよう分かりやすい勧奨方法を検討し、重症化を予防できるよう、早期の病院受診を勧めていく。
普及啓発	実施	○	受診人数	120人	×	これからも継続して実施 啓発強化に努める						
普及啓発	実施	○	受診人数	110人	×	これからも継続して実施 啓発強化に努める						
普及啓発パンフレット送付	全対象者への送付	○	受診人数	60人	○	効果的な受診勧奨方法を工夫する	・肝がん標準化死亡比 ・肝硬変のレセプト件数と医療費 ・肝がんのレセプト件数と医療費	男性 78.2 女性 101.2 39件 3,176,660円 33件 8,183,580円	男性 113 女性 126 63件 2,901,940円 25件 3,065,520円	減少	△	広報やホームページの掲載内容を工夫し受診者数の増加を図る。
普及啓発パンフレット送付	全対象者への送付	○	受診率	15.0% 15.0% 17.0% 18.0% 20.0% 15.0%	×	感染症対策に留意し、集団健診の定員を増加し実施する。特定健診とのセット内容を充実させる。コールドコールの媒体や時期を見直し、効果的な受診勧奨を行う。	標準化死亡比 男性・胃がん ・肺がん 女性・子宮がん ・胃がん ・大腸がん ・肺がん	男性 130.1 男性 134.3 女性 202.1 125.1 97.4 116.6	男性 113.1 男性 126.4 女性 — 111.1 90.1 116.8	減少	○	感染予防に留意し、より受診しやすい健診方法を見直しと共に効果的な受診勧奨を行い、受診率の増加を目指す。
通知文送付	全員	○	通知人数	全員通知	○	継続して実施していく予定	精検未受診率	23.2%	15.8%	減少	○	精密検査未受診者に通知をし、医療機関受診勧奨を実施する。がんの早期発見につなげる。
普及啓発	実施	○	チーム数	50チーム	×	継続して実施する	要支援認定率	6.6%	8.16%	7.0%	×	チームが結成できるように働きかける
普及啓発	実施	○	利用人数	65人	×	継続して実施する	対象者認定率	95.0%	100%	100.0%	○	継続して実施する
実施回数	15か所	×	参加人数	215人	×	継続して実施する	実施か所、参加人数	21か所 参加 581人	2か所 延 25人	15か所 延 300人	×	実施か所を増やす
普及啓発	実施	○	実施か所	50か所	×	継続して実施する	要支援認定率	6.6%	8.16%	7.0%	×	専門職による支援を継続する